

町民生活の向上に、全力で取り組みめ!!



星川 久 委員長

予算特別委員会において新年度予算の審査を行い、一般会計及び各特別会計とも原案のとおり可決すべきものであると芳賀議長に対して報告しました。

一般会計予算 〔全員賛成〕

◆ 町施設の愛称募集

村形 昌一 委員

交 流センターはネーミングライツへ施設名権にすれば財源にもなるのではないかと、日照畑公園の呼称変更はないか。町長 もう一度検討する。

◆ LED化

村岡 藤弥 委員

駅 前からの街路灯はLED化できないか、どうする。町長 商店街や商工会と考えてみたい。中央公民館の位置づけは。

中 町の活性化に公民館活動が必要で、中核は交流センターの中にした。

◆ プレミアム券

齋藤 公一 委員

プ レミアム券の年2回発行はできないか。町長 商工会と話し合いながら検討したい。

◆ 新年度予算の目玉

遠藤 宏司 委員

注 目してほしい事業は。町長 地域おこし協力隊の情報把握が遅れていないか。町長 アンテナを高くしていく。

◆ 報酬削減分の事業

小玉 勇 委員

特 別職の報酬削減を事業化することは自己アピールに見える。町長 自己アピールではない。事業として見えるようにした。

◆ 空き家対策

関 幸悦 委員

危 険な空き家の対策が取られていないか。町長 法律上の問題で解決できないところがある。

福 祉バスを手上げ方式にできないか。町長 手上げ方式は危険なので、停留所の設置を地区が要望する形で考える。

◆ ふるさと納税

村岡 藤弥 委員

ふ るさと納税は高い目標を持って進めるべき。町長 新たな返礼品も増やし、職員も頑張っている。

特 別支援教育補助員が不足しているが、教育長 子どもたちの一生を左右するので努力したい。

◆ 総合型地域スポーツクラブ(※)

岡崎 英和 委員

ど のような形にクラブ運営をしていくつもりか。町長 全町民が参加できるように体制で考える。

※総合型地域スポーツクラブとは
日本における生涯スポーツ社会の実現を掲げ文部科学省が実施するスポーツ振興策の1つ。幅広い世代の人々が、各自の興味関心・競技レベルにあわせ様々なスポーツに触れる機会を提供する、地域密着型のスポーツクラブをいう。



ふるさと納税で町をPR

◆ 県内の状況と町の構想

村形 昌一 委員

県 教育文化課長 未設置は大石田町と遊佐町で、町ではソフトバレーやスポーツ吹き矢などの軽スポーツのチームを増やしていきたい。

少 子化対策として第5子500万円位にしなければ抜本的対策にならないのでは。財源は過疎債も使える。町長 財政面を考え今後考えていきたい。

◆ 医療費

大山 二郎 委員

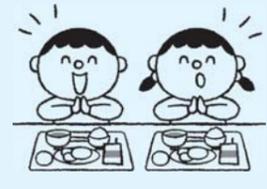
高 校生まで医療費無料化はできないか。町長 財政的にできなかつた。

消 防分署建設や小学校統合の進め方は遅いのでは。町長 話し合いはしている。

給食会計 〔全員賛成〕

遠藤 宏司 委員

給 食費の値下げはできないか。教育長 国補助金等で継続的な政策になるかを調査している。



国保会計 〔賛成多数〕

遠藤 宏司 委員

値 上げ幅が大きすぎるが、上げない努力はしたのか。町長 医療費が伸びた結果だが、国には国保への支援を要望している。

大山 二郎 委員

緩 和措置的なものをする考えはないか。町長 これをお願いしたい。

村岡 藤弥 委員

町 民へ丁寧な説明が必要だ。町長 そのとおりだ。



国民健康保険特別会計予算案に討論!

反対討論 遠藤 宏司 委員

国保会計が2018年から県一本化することに合わせ、国は3400億円の公費を投入することを決め、2015年度に1700億円の国保財政支援を実施した。厚生労働省は被保険者の負担の軽減や抑制が可能になり、一人当たり5千円の財政支援になることを、全国の市町村に通知している。国の方針にしたがい財政支援を活かす努力をしているならば24%もの大幅な町民負担増は避けることは可能であった。

したがって平成28年度国民健康保険特別会計予算案に反対する。

賛成討論 村岡 藤弥 委員

国民健康保険は相互扶助が大前提で、基金が枯渇した現在、運営するには加入者に負担していただき収支を合わせるしかない。加入世帯が町の約半分、加入人口が約1/3の状態ですべて一般会計から補填することは、町民の理解を得ることが難しいと思う。負担が重くなることは心苦しいが、いたし方ないことであり賛成する。